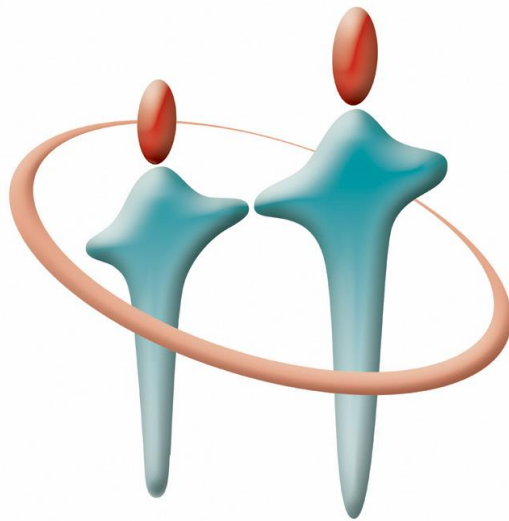


平成29年度事業報告/ 及び決算報告



JAPAN SOCIETY OF
NINGEN DOCK

公益社団法人
日本人間ドック学会

目次

(事業報告)

I. 序章	1
1. 事業計画	1
2. 役員／社員／会員数等	4

(公益目的事業)

II. 第58回 日本人間ドック学会学術大会	5
1. 開催概要	5
2. 学術大会主要プログラム	6
III. 学会誌	10
1. 学会誌	10
IV. 人間ドック認定医制度	11
1. 第19回人間ドック認定医認定	11
2. 第14回人間ドック認定医更新	11
V. 人間ドック健診専門医制度	11
1. 平成29年度人間ドック健診専門医認定試験 認定者数	11
2. 人間ドック健診専門医制度 研修施設・指導医 認定・更新数	11
VI. 人間ドック健診施設機能評価	12
1. 人間ドック健診施設機能評価 認定施設数	12
2. 第17回サーベイヤー研修会	12
3. 公式講習会	12
4. 保健指導実施施設認定調査事業 受審説明会	13
VII. 研修会・人材育成活動	13
1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成	13
2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成	14
3. 人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会	14

(その他の事業)

VIII. 他団体等への紹介や指定等	15
1. 健保連等への人間ドック実施施設指定	15
2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約A)	15
3. 第3期特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けての説明会	15

(決算報告) 平成 30 年 3 月 31 日 現在

1. 貸借対照表	1
・ 貸借対照表内訳表	2
2. 正味財産増減計算書	3
・ 正味財産増減計算書内訳表	4
・ 財務諸表に対する注記	5
3. 財産目録	6
・ 附属明細書	7

事業報告

<事業報告>

I. 序章

1. 事業計画

1) 学術大会開催に関する事項

第58回日本人間ドック学会学術大会

開催期日：2017年8月24日（木）・25日（金）

会場：埼玉県さいたま市 大宮ソニックシティ

テーマ：生涯健康のガイドライン創り—豊かな高齢化社会を目指して—

学術大会長：中川高志（医療法人大宮シティクリニック 理事長）

2) 研修会等開催に関する事項

①人間ドック健診施設機能評価サーベイヤー研修会の開催(年1回)

②人間ドック健診施設機能評価看護職サーベイヤー研修会の開催(年1回)

③人間ドック健診施設機能評価公式講習会の開催(年1回)

④人間ドック健診施設機能評価 Ver.4.0 説明会の開催(年1回)

⑤人間ドック健診情報管理指導士研修会の開催(年2回)

⑥人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会の開催(年5回)

⑦第3期特定健診/特定保健指導の円滑な実施に向けた説明会の開催

3) 人間ドック認定医/人間ドック健診専門医制度に関する事項(本学会単独事業)

①人間ドック認定医の認定

②旧人間ドック健診専門医の更新

4) 人間ドック健診施設機能評価に関する事項

①人間ドック健診施設の審査・認定

②人間ドック健診施設機能評価受審の推進 (Ver.4.0に向けた検討含む)

③簡易版・新評価事業等の検討

④保健指導実施健診施設の審査・認定

⑤サーベイヤー教育研修の企画立案

5) 人間ドック健診情報管理指導士に関する事項

①人間ドック健診情報管理指導士の認定

②人間ドック健診情報管理指導士の更新

6) 特定健診・特定保健指導に関する事項

①特定健診・特定保健指導施設のとりまとめと保険者への紹介(集合契約A)

②特定健診・特定保健指導に関する情報収集

7) 健康保険組合連合会等との指定施設に関する事項

①人間ドック健診施設との一日ドック・二日ドックの指定契約

②旧二日ドック指定施設の実査の実施

8) 広報活動に関する事項

①学会誌「人間ドック」の充実、投稿の拡大強化

VOL. 32 NO. 1～NO. 5 (1-5号) 発刊予定

②英文誌「Ningen Dock International」の充実、投稿の拡大強化

VOL. 5 NO. 1～NO. 2 (1-2号) 発刊予定

- * 英文誌の発刊については原著英論文の投稿状況に応じて年1～2回とする
- ③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構（JST）が構築したJ-STAGEに搭載する
- ④国内外学術団体及び協力団体等との情報交換を積極的に展開
- ⑤学会活動状況及び機能評価認定施設情報等を積極的に公開

9) 委員会活動に関する事項

- ①基本問題検討委員会
- ②人間ドック健診の有用性に関する大規模調査研究委員会(名称の決定・世界への発信)
- ③総務／広報委員会(学会ホームページの強化・英文化)
- ④健保連人間ドック健診等の経営や契約に関する検討委員会（日病との合同）
- ⑤倫理委員会
- ⑥人間ドック健診施設機能評価委員会
 - ・ Ver.4.0 作成検討小委員会
 - ・ 保健指導実施施設認定検討小委員会
- ⑦学術委員会
 - ・ がん登録小委員会／基準検査検討小委員会／喫煙対策小委員会／
 - 女性の間ドック健診の在り方に関する小委員会／低線量CT肺がん検診推進小委員会
- ⑧編集委員会
 - ・ Pub Med ならびに Web of Science 収録に関する小委員会
- ⑨人間ドック健診統計調査委員会(新企画での統計処理等)
- ⑩人間ドック健診専門医制度委員会（日本総合健診医学会との合同委員会）
 - ・ 試験問題検討/作成小委員会／認定小委員会／研修会検討小委員会／
 - 施行規則細則改訂小委員会／研修プログラム・カリキュラム検討作成小委員会
- ⑪人間ドック健診認定医/専門医制度委員会（本学会単独）
- ⑫人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会
 - ・ 検査項目別部門小委員会を設置
- ⑬特定健診/特定保健指導対策委員会
- ⑭国際委員会（人間ドック健診の日本以外への普及・訪日外国人の取り込み）
- ⑮遺伝学的検査検討委員会
 - ・ 遺伝学的検査教育プログラムワーキンググループ
- ⑯社員選任／役員選定委員会
- ⑰調査票作成ワーキンググループ

その他必要とされる委員会は逐次開催する

10) 他団体との共催事業に関する事項

（日本総合健診医学会との共催事業）

- ①人間ドック健診専門医試験の実施
- ②人間ドック健診専門医の認定
- ③人間ドック健診指導医の認定
- ④人間ドック健診研修施設の認定
- ⑤人間ドック健診認定医・専門医研修会の開催（年5回の内3回は本学会主催）
- ⑥人間ドック健診指導医の認定・指導医育成のための研修会の実施

（全国労働衛生団体連合会との共催事業）

- ①腹部超音波検査の精度管理事業の共同実施

（健康保険組合連合会との共催事業）

- ①人間ドックと特定保健指導同日実施による実施率の検証（仮）

11) 統計・調査に関する事項

- ①人間ドック健診受診者データの収集、蓄積
- ②施設会員実態調査の収集、蓄積
- ③特定健診/特定保健指導受診者数データの収集、蓄積
- ④行政機関、他の学術団体との比較可能なデータの整理
- ⑤人間ドック健診施設機能評価認定施設のデータの収集、整理

12) その他

- ①日本医学会への加盟
- ②健診事業に携わる他団体と連携して「健診団体連絡協議会」を設立
- ③健康保険組合連合会との事業連絡会
- ④一般社団法人日本専門医機構への参画
- ⑤NPO 法人日本人間ドック健診協会との相互協力
- ⑥日本総合健診医学会との相互交流・意見交換会（理事長・副理事長懇談会の開催等）
- ⑦IHEPA との国際人間ドック会議同時開催に向けての相互交流
- ⑧厚労省等研究事業等に積極的に申請
- ⑨人間ドック健診研究体制の強化

2. 役員／社員／会員数等

①役員数等	理事長	1名
	副理事長	5名
	理事	24名
	監事	3名
	(名誉理事長)	1名
	(名誉会員)	32名

②社員数 171名(内役員は32名)

③正会員 / 施設会員 / 賛助会員数 (平成30年3月31日現在)

A会員 (医師)	5,717名
B会員 (医師以外)	449名
C会員 (施設 (医療機関))	1,669施設
S会員 (企業など)	31団体

④その他

・人間ドック認定医・専門医数及び指導医、研修施設数 (平成30年3月31日現在)

認定医交付人数	5,401名
専門医交付人数	1,657名
研修施設数 (累積認定)	317施設
指導医数 (累積認定)	932名
暫定研修施設 (指導医) 数	71施設 (71名)

・人間ドック健診情報管理指導士累積人数	6,724名 (平成30年3月31日現在)
・人間ドック健診食生活改善指導士累積人数	938名 (平成30年3月31日現在)
・人間ドック健診施設機能評価累積認定数	404施設 (平成30年3月31日現在)

・一日ドック／二日ドック指定数 (平成30年3月31日現在)

一日ドック	132施設
二日ドック	7施設
一日ドック・二日ドック両方	343施設

(公益目的事業)

II. 第 58 回 日本人間ドック学会学術大会

1. 開催概要

- 1.開催日程 2017年8月24日(木)・25日(金)
2.開催会場 大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮
3.学術大会長 中川 高志(医療法人 大宮シティクリニック 理事長)
4.テーマ 「生涯健康のガイドライン創り豊かな高齢化社会を目指して」

5.開催内容	学術大会長講演	1題
	特別講演	1題
	招待講演	1題
	教育講演	1題
	記念講演	1題
	おもてなし講演	1題
	シンポジウム	5題
	パネルディスカッション	1題
	特別企画	2題
	日本人間ドック学会 理事長講演	1題
	日本医師会認定産業医制度産業医学研修会	1題
	国際セッション(口頭発表)	5題
	会員集会	1題
	一般演題※(申込数:500)	486題
	計	508題
	※口頭発表:400題、ポスター発表:86題	
	ランチョンセミナー	19題
	企業・書籍	99ブース(86社)

6.参加実人数 5,646名(内4,766名/有料)

- ・事前登録参加者 2,864名
(医師1,786名、その他1,078名)
- ・当日参加者 1,902名
(医師1,165名、その他737名)
- ・招待者 105名
- ・ランチョンセミナー共催企業(19社) 225名
- ・展示企業(86社) 550名

7.市民向け企画

市民公開講座 「ストレスと回復力 -素敵に年を重ねよう」
主催:第58回日本人間ドック学会学術大会/NPO法人日本人間ドック健診協会
参加者人数 520名 以上

2. 学術大会主要プログラム

主要プログラム

第1日目 (8月24日(木) 第1会場 (大宮ソニックシティ ホール棟 1F 大ホール))

■開会式 8:45 ~ 9:00

■大会長講演 9:00 ~ 9:30

「生涯健康のガイドライン創り」

座長：加藤 公則 (新潟県労働衛生医学協会・新潟大学大学院
生活習慣病予防検査医学講座 教授)

演者：中川 高志 (医療法人 大宮シティクリニック 理事長)

■特別講演 9:30 ~ 10:30

「がんの早期発見：がんにならない、がんに負けない、がんと生きる社会を目指す」

座長：和田 高士 (東京慈恵会医科大学大学院 健康科学 教授)

演者：落谷 孝広 (国立研究開発法人 国立がん研究センター研究所 分子細胞治療研究
分野 主任分野長)

■招待講演 10:45 ~ 11:45

「ときめきのとき」

座長：中川 高志 (医療法人 大宮シティクリニック 理事長)

演者：宮田 亮平 (東京藝術大学 名誉教授)

■シンポジウムⅡ 14:00 ~ 16:00

「特定保健指導～10年間の集大成と第三期に向けて」

座長：津下 一代 (あいち健康の森健康科学総合センター センター長)

福井 敏樹 (医療法人社団如水会 オリーブ高松メディカルクリニック 院長)

演者：「第3期の特定保健指導の見直しについて」

高木 有生 (厚生労働省保険局医療介護連携政策課データヘルス・
医療費適正化対策推進室 室長)

「特定保健指導から得られた科学的知見」

村本あき子 (あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部長)

「保健指導の組織的な体制、評価」

武藤 繁貴 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター 所長)

「特定健診・特定保健指導における禁煙支援の普及をめざして」

中村 正和 (公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究
センターセンター長)

「保健指導者育成に向けた人間ドック学会の取り組み

～人間ドック学会特定健診・特定保健指導対策委員会より～

福井 敏樹 (医療法人社団如水会 オリーブ高松メディカルクリニック院長)

第1日目 (8月24日(木) 第2会場 (大宮ソニックシティ ホール棟 2F 小ホール))

■シンポジウムⅠ 9:45 ~ 11:45

「人間ドック健診を糖尿病予防にどのように活用するか」

座長：佐々木 敬 (東京慈恵会医科大学 臨床医学研究所 教授)

演者：「糖尿病の早期発見と予防の実際」

藤川 るみ (医療法人 グランドタワーメディカルコート 診療部 部長)

「心血管病予防に対しての人間ドック健診の活用方法」

清水 一紀 (社会医療法人 心臓病センター榊原病院 糖尿病内科 部長)

「糖尿病予防、糖尿病治療としての食事・運動療法」

福井 道明 (京都府立医科大学大学院医学研究科 内分泌・代謝内科学 教授)
「糖尿病患者における糖尿病腎症に対する考え方」
古家 大祐 (金沢医科大学 糖尿病・内分泌内科学 教授)

■シンポジウムⅢ 14:00 ~ 16:00

「女性のドックをいかに効率よく行うか」

座長：佐々木 寛 (医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院 婦人科部長
東京慈恵会医科大学附属 柏病院産婦人科 客員教授)

演者：「子宮頸がん検診・細胞診・コルポスコピー」

植田 政嗣 (公益財団法人 大阪がん循環器病予防センター 婦人科検診部長)

「子宮頸がん併用検診から見た婦人科ドック検診」

河西十九三 (ちば県民保健予防財団 総合健診センター顧問)

「本会におけるドック女性健診効率化への取り組み」

木口 一成 (公益財団法人 東京都予防医学協会 検査研究センター長)

「子宮がん検診ー子宮頸がん健診に液状化検体法の導入」

児玉 省二 (医療法人 新潟南病院 産婦人科部長)

「職域の子宮頸がん検診の現状と将来の展望」

小田 瑞恵 (医療法人社団 こころとからだの元気プラザ 婦人科診療部長)

■シンポジウムⅣ 16:00 ~ 18:00

「眼科健診の現状と未来」

座長：中野 匡 (東京慈恵会医科大学 眼科学講座 教授)

演者：「眼科健診の公衆衛生上の意義」

立道 昌幸 (東海大学医学部基盤診療学系衛生学公衆衛生学 教授)

「エビデンスに基づいた眼科健診を目指して」

川崎 良 (山形大学大学院医学系研究科公衆衛生学講座 准教授)

「眼科健診の医学的効果」

山田 昌和 (杏林大学医学部 眼科学教室 教授)

「健診における視野計導入の効果」

中野 匡 (東京慈恵会医科大学 眼科学講座 教授)

「人間ドックで実施した眼科健診の実際」

中川 徹 (株式会社日立製作所日立健康管理センタ 副センタ長)

第2日目 (8月25日 (金) 第13会場 (パレスホテル大宮 4F ローブルーム))

■特別講演 14:00 ~ 16:00

「日本医師会認定産業医制度産業医学研修会」

座長：足立 雅樹 (埼玉医科大学病院 健康管理センター 副センター長)

演者：「最近の産業保健の動向」

松本 吉郎 (公益社団法人日本医師会 常任理事 一般社団法人大宮医師会 会長
松本皮膚科形成外科医院 院長)

「産業化学物質とそのリスクアセスメント」

柳澤 裕之 (東京慈恵会医科大学環境保健医学講座 教授)

第2日目 (8月25日 (金) 第1会場 (大宮ソニックシティ ホール棟 1F 大ホール))

■教育講演 9:00 ~ 10:00

「人間ドック、健康管理における肥満症診療の意義」

座長：森山 優 (医療法人 大宮シティクリニック 副所長)

演者：宮崎 滋 (公益財団法人 結核予防会 総合健診推進センター 所長)

■記念講演 10:05 ～ 11:20

「保健医療の将来：制度からシステムへ」

座長：宮下 正弘（社会福祉法人賛成福祉会介護老人保健施設 山盛苑 施設長）

井原 實（国際ロータリー第2770 地区ロータリー財団 委員長）

演者：渋谷 健司（東京大学大学院医学系研究科 教授）

共催：国際ロータリー第2770地区

■日本人間ドック学会 理事長講演 13:30 ～ 14:15

「今後の人間ドック健診と日本人間ドック学会の進むべき道」

演者：篠原 幸人（公益社団法人日本人間ドック学会 理事長）

国家公務員共済組合連合会および同 立川病院 顧問

東海大学 名誉教授）

■日本人間ドック学会会員集会 14:15 ～ 16:00

・第59回日本人間ドック学会学術大会について

報告：加藤 公則（新潟大学大学院生活習慣病予防検査医学講座 教授、

一般社団法人 新潟県労働衛生医学協会）

・平成29年度 事業報告・収支予算報告

報告：篠原 幸人（日本人間ドック学会 理事長）

那須 繁（日本人間ドック学会 財務担当理事）

・各種委員会報告

①『人間ドック判定区分改定2018 年度（案）』

報告：和田 高士（人間ドック健診判定・指導マニュアル作成委員会 委員長）

②『学術委員会喫煙対策小委員会 施設アンケート結果報告』

報告：中村 正和（学術委員会 喫煙対策小委員会 委員長）

・表彰式

人間ドック健診施設機能評価優秀賞

・一般財団法人 芙蓉協会 聖隷沼津第一クリニック 聖隷沼津健康診断センター

・社会医療法人財団 天心堂 健診・健康増進センター

・特定医療法人財団 博愛会 人間ドックセンターウェルネス天神／

ウィメンズウェルネス天神

・日本赤十字社 富山赤十字病院 健診センター

・基督復臨安息日會医療財団法人 Taiwan Adventist Hospital 台安医院

・一般財団法人 三宅医学研究所 セントラルパーククリニック

・市立横手病院 健康管理センター

・白山石川医療企業団 公立松任石川中央病院

・2016 年度 学会誌優秀論文賞

■閉会式 16:00 ～ 16:30

・プレナリーセッション最優秀口頭・ポスター（学術大会長賞）表彰式

第2日目（8月25日（金）第2会場（大宮ソニックシティ ホール棟 2F 小ホール）

■シンポジウムV 9:00 ～ 11:00

「COPD の診断をめぐる」

座長：河野 修興（広島都市学園大学 学長）

横山 彰仁（高知大学医学部附属病院 病院長、高知大学医学部 血液・呼吸器内

科学 教授）

演者：「診断基準と病期」

柴田 陽光（山形大学医学部第一内科 病院教授）

- 「オシレーシ法による診断は可能か？」
 黒沢 一（東北大学環境・安全推進センター 教授）
 「肺年齢の利用と問題点（患者指導の要点を含めて）」
 西川 正憲（藤沢市民病院副院長呼吸器内科部長）
 「COPD:CT画像からわかること」
 室 繁郎（京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学 准教授）
 「喘息とCOPDの合併例の診断」
 岩本 博志（広島大学分子内科 講師）

■おもてなし講演 11:00 ～ 12:00

- 「盆栽が教えてくれること」
 座長：中川 一美（医療法人 大宮シティクリニック 理事）
 演者：山田 香織（清香園 彩花流盆栽 家元）
 共催：さいたま市大宮盆栽美術館

■市民公開講座 14:00 ～ 15:50

- 「ストレスと回復力—素敵に年を重ねよう」
 演者：海原 純子（日本医科大学 医学教育センター・健診医療センター特任教授）
 司会進行：入江 みか（フリーアナウンサー）

第2日目（8月25日（金）第3会場（大宮ソニックシティ ホール棟 4F 国際会議室）

■特別企画Ⅱ 9:00 ～ 11:45

- 第一部「超音波検査 ライブセミナー」腹部・乳腺
 司会：足立 雅樹（埼玉医科大学病院 健康管理センター 副センター長）
 演者：「乳腺エコーの基本を確認しましょう」
 中島美智子（埼玉医科大学病院 総合診療内科 非常勤講師）
 「腹部エコー／日常業務の疑問を考える」
 清水 正雄（埼玉医科大学病院 健康管理センター 助教）
 第二部「婦人科細胞診の実際」
 司会：佐々木 寛（医療法人沖縄徳洲会千葉徳洲会病院 婦人科部長
 東京慈恵会医科大学附属 柏病院産婦人科 客員教授）
 演者：「子宮頸がん検診—細胞採取を主体に—」
 小田 瑞恵（医療法人社団 こころとからだの元気プラザ 婦人科診療部長）
 協力：東芝メディカルシステムズ株式会社

■パネルディスカッション 14:00 ～ 15:30

- 「健診ツーリズム：世界に広がる人間ドック」
 座長：山本 修三（一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長）
 黄 菊坤（NEUSOFT Japan（株）Xikang Japan 責任者）
 演者：「日本の医療国際展開の仕組みと現状」
 山本 修三（一般社団法人Medical Excellence JAPAN 理事長）
 「健診ツーリズムにおける運用上の問題点— お客様視線より」
 黄 菊坤（NEUSOFT Japan（株）Xikang Japan 責任者）
 「外国人からみた日本の健診サービスの違い（外国人が満足する健診サービスとは何か）」
 渡部 昌樹（徳洲会国際医療支援室 プロジェクトリーダー）
 「メディカルツーリズム10の知識」
 河野 晋一（医療法人沖縄徳洲会湘南鎌倉総合病院 健康管理センター責任者）
 「海外で人間ドックを受診する際の問題点 — 台湾と日本の人間ドックの違い」
 齋 龍駒（台湾 台安医院 特別外来主任）

国際セッション

第2日目 (8月25日 (金) 第8会場 (大宮ソニックシティ ビル棟9F 906 会議室))

■国際セッション 9:00 ~ 9:50

Fatty liver is a risk for progression of arterial sclerosis due to lipids abnormalities

○Yasuhiro Nishizaki¹, Noriaki Kishimoto¹, Chizumi Yamada², Emiko Kikuchi¹,
Tamae Ogata², Chiori Okuno², Kanae Oda², Yutaka Shiina², Naoaki Ishii³
Department of Clinical Health Science, School of Medicine, Tokai University¹
Department of Clinical Health Science, School of Medicine, Tokai University Tokyo
Hospital²
Life Care Center, Graduate School of Medicine, Tokai University³

Negative Correlation between LDL-cholesterol and Fasting Plasma Glucose in Medical Check-up Examinees with Low LDL-cholesterol

○Kazuo Murakami
Department of Health Care and Preventive Medicine, Matsuyama Red Cross Hospital

Possible association between LOX-index and bone fragility

○Junichi Kaburaki¹, Tomoko Sugiyama², Akihiro Saigusa²
Department of Medicine, Shinjuku Medical Plaza¹ Shinjuku Medical Plaza²

Postchallenge Hyperglycemia in Subjects with Low Body Weight: Implication for Small Glucose Volume

○Takahiro Sakuma¹, Masanori Shimodaira², Kazuko Hirabayashi³, Hideo Koike³,
Takuro Shimbo⁴, Atsushi Maruyama⁵, Masayuki Fujiwara⁵, Yoshihiro Nishimura⁵,
Yoshiki Hirose⁵, Toru Aizawa³
Internal Medicine, Ina Central Hospital¹ Iida Municipal Hospital²
Aizawa Hospital³ Ohta Nishinouchi Hospital⁴ Ina Central Hospital⁵

Status and development of early cancer screening in China

○MA Jian Peng¹, Zhang Ling², Sunakozawa Toshiko³
Early cancer screening, XKmed¹ XKmed² soken company³

III. 学会誌

①和文誌「人間ドック」 (年5回)

VOL. 32 NO. 1 2017. 6 (原著論文・学術大会)
VOL. 32 NO. 2 2017. 8 (学術大会プログラム・抄録集)
VOL. 32 NO. 3 2017. 9 (原著論文集)
VOL. 32 NO. 4 2017. 12 (原著論文・学術大会開催案内集)
VOL. 32 NO. 5 2018. 3 (原著論文/学術大会開催案内第2弾)

②英文誌「Ningen Dock International」 (年1回)

VOL. 5 NO. 1 2018. 3 (原著英文誌)

③電子化し、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) が構築した J-STAGE に掲載

IV. 人間ドック認定医制度

1. 第19回人間ドック認定医認定

人間ドック認定医制度は、平成29年4月1日の認定者数は161名であり、認定医交付総数として5,401名となった。

2. 第14回人間ドック認定医更新

人間ドック認定医制度（更新）は、平成29年4月1日の更新者数は242名であり、更新者総数は3,747名である。

V. 人間ドック健診専門医制度

平成23年度より名称を『人間ドック健診専門医』と変更し、平成24年度より日本総合健診医学との合同事業となった。平成29年度人間ドック健診専門医認定試験を両学会合同にて実施し、当日受験者数27名（日本人間ドック学会17名、日本総合健診医学会10名）、受験合格者数は27名であった。旧制度からの更新者は日本人間ドック学会6名、日本総合健診医学会1名が新たに新制度へ移行し、平成29年度人間ドック健診専門医認定者は合計34名となった。人間ドック健診専門医認定者には、両学会認定の専門医認定証を交付し、更新までの5年間に50単位（両学会企画30単位以上・両学会以外の企画上限20単位）を取得することとなる。また、専門医受験者数を増やす目的で、暫定指導医・暫定研修施設の委嘱を新たに行った。

1. 平成29年度人間ドック健診専門医認定試験（日本総合健診医学会との合同6回目）

日時：平成29年10月22日（日） 13:00～15:00（受付11:30～）

会場：主婦会館プラザエフ 3階主婦連会議室（東京都千代田区六番町15）

受験対象者：新制度受験資格該当者

試験内容： ●試験問題集および追加問題含め 計100問出題

●100分間 マークシート方式による筆記試験

◆平成29年度人間ドック健診専門医 認定者数（新制度更新者数：126名）

日本人間ドック学会 平成29年度専門医認定者数：17名、

旧制度からの更新者数：6名 合計23名

（日本総合健診医学会 平成29年度認定者数：10名 旧制度更新者数：1名）

認定期間は、2018年4月1日～2023年3月31日 5年間とする。

【人間ドック（健診）専門医認定者数（ドック学会累計）：1,657名】

2. 平成29年度人間ドック健診専門医制度 指導医・研修施設 認定数

新制度条件を満たした指導医・研修施設を両学会で認定した。

日本人間ドック学会 新規認定指導医：7名 新規認定研修施設：7施設（復活3施設）

（日本総合健診医学会： 新規認定指導医：0名、新規認定研修施設：6施設）

【人間ドック健診指導医 新制度認定者数（ドック学会 累計）：932名】

【人間ドック健診研修施設 新制度認定数（ドック学会 累計）：317施設】

※暫定指導医・暫定研修施設として、新たに委嘱（5年間）し、1施設1名とする。

日本人間ドック学会 暫定研修施設：71施設（暫定指導医：71名）

（日本総合健診医学会： 暫定研修施設：42施設（暫定指導医：42名））

委嘱認定期間は、2018年4月1日～2023年3月31日 5年間をもって委嘱終了とする。

VI. 人間ドック健診施設機能評価

平成 30 年 3 月末現在、538 施設から受審申請がある。認定施設の累計は 404 施設である。
 (うち 2 回更新済み 164 施設、1 回更新済み 100 施設、更新辞退 40 施設)
 認定施設の分布状況は、45 都道府県に認定施設がある。

【認定施設の分布 *平成 30 年 3 月末現在。更新辞退施設を除く】

北海道	13	東京都	60	滋賀県	3	香川県	4
青森県	3	神奈川県	22	京都府	11	愛媛県	3
岩手県	4	新潟県	6	大阪府	25	高知県	3
宮城県	8	富山県	2	兵庫県	13	福岡県	11
秋田県	5	石川県	4	奈良県	4	佐賀県	2
山形県	3	福井県	3	和歌山県	1	長崎県	3
福島県	2	山梨県	1	鳥取県	0	熊本県	4
茨城県	3	長野県	13	島根県	2	大分県	4
栃木県	5	岐阜県	7	岡山県	10	宮崎県	0
群馬県	7	静岡県	7	広島県	12	鹿児島県	3
埼玉県	10	愛知県	24	山口県	3	沖縄県	5
千葉県	15	三重県	8	徳島県	1	海外(台湾)	2

●サーベイヤー研修会

サーベイヤーのスキルアップおよび最新の評価基準の解釈周知等を目的に例年開催している。

<第 18 回サーベイヤー研修会>

- 1.日 時：平成 29 年 8 月 23 日（水）12：00～17：00
- 2.会 場：パレスホテル大宮 4 階 ローブルーム中（埼玉県さいたま市）
- 3.参加者：サーベイヤー98 名（医師 36 名、事務 44 名、看護職 18 名）

<サーベイヤー初任者研修会>

- 1.日 時：平成 29 年 5 月 12 日（金）11：00～12：00
- 2.会 場：主婦会館 4 階 エミール（東京都千代田区）
- 3.参加者：5 名（医師 3 名、事務 2 名）

●公式講習会

人間ドック健診施設機能評価受審（希望）施設を対象に講習会を開催した。

<第 1 回（Ver.3.0）>

- 1.日 時：平成 29 年 5 月 12 日（金）12：30～16：00
- 2.会 場：主婦会館 7 階 カトレア（東京都千代田区）
- 3.参加者数：104 名（54 施設）

<第2回 (Ver.4.0) >

- 1.日 時：平成30年3月9日（金）12：30～16：30
- 2.会 場：主婦会館 7階 カトレア（東京都千代田区）
- 3.参加者数：168名（75施設）

●保健指導実施施設認定調査事業 受審説明会

機能評価認定施設を対象とし、全国の認定施設の人間ドック健診における指導体制の実態確認、および指導体制構築を推進するために開始した調査事業である。

<第1回>

- 1.日 時：平成29年5月12日（金）15：30～17：30
- 2.会 場：主婦会館 7階 カトレア（東京都千代田区）
- 3.参加者数：35名（24施設）

VII. 研修会・人材育成活動

1. 人間ドック認定医・人間ドック健診専門医の育成

●第46回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成29年8月26日（土） 9：30～12：45
会 場：大宮ソニックシティ 1,277名
開会挨拶

「消化器疾患の現状と今後の展望」

「人間ドック健診における乳がん診断」

「医療事故調査制度について-その考え方、現状、今後の展望-」

●第47回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成29年11月25日（土） 12：30～15：45
会 場：神戸国際会議場 461名
開会挨拶

「健診等における食事の評価と指導（食事バランスガイド）」

「子宮頸がんの予防、診断、治療」

「健康長寿を意識した高齢者医療～フレイルについて～」

●第48回 人間ドック健診認定医・専門医研修会

日 時：平成30年3月4日（日） 12：30～15：45
会 場：東京ビッグサイト 744名
開会挨拶

「リスクマネジメント～医師が心がけておくべきこと～」

「3秒で心電図を読む」

「前立腺がんの診断の問題点と最新治療」

2. 人間ドック健診情報管理指導士の育成

●人間ドック健診情報管理指導士 研修会 (対象：医師・保健師・管理栄養士)

回	日程	会場	認定者	内訳
第29回	平成29年5月26日(金)～27日(土)	品川フロントビル(東京)	186名	医師：41名 保健師：95名 管理栄養士：50名 (他修了者：24名)
第30回	平成30年2月2日(金)～3日(土)	ベルサール御成門駅前(東京)	181名	医師：44名 保健師：97名 管理栄養士：40名 (他修了者：25名)

【平成29年度 プログラムと担当講師】

基礎編：①-③『健診・保健指導の理念/保健指導対象者の選定と階層化/保健指導の基本的事項』

基礎編：④-⑤『保健指導の立案～評価まで/ポピュレーションアプローチとの連動』

技術編：①『メタボリックシンドロームの概念』

技術編：②-④『行動変容に関する理論/生活習慣病改善への行動計画/情報提供、動機付積極的支援の内容』

技術編：⑤『身体活動・運動に関する保健指導』

『たばこ・アルコールに関する保健指導』

『食生活に関する保健指導』

『特定保健指導で役立つ口腔保健の知識』

技術編：⑥『保健指導の展開』(演習)

技術編：⑦『保健指導の評価』

『人間ドック健診におけるがん検診—その現状と展望—』

●人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会 (対象：医師・保健師・管理栄養士・食生活改善指導士)

回	日程	会場	参加者数	内訳
第44回	平成29年6月24日(土)	ベルサール九段(東京)	<u>248名</u>	医師：68名 保健師：115名 管理栄養士：57名 看護師等：8名
第45回	平成29年9月23日(土)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 心斎橋(大阪)	<u>151名</u>	医師：45名 保健師：65名 管理栄養士：41名
第46回	平成29年10月15日(日)	AP 東京八重洲通り(東京)	<u>249名</u>	医師：66名 保健師：120名 管理栄養士：58名 看護師等：5名
第47回	平成29年11月26日(日)	AP 大阪駅前梅田1丁目(大阪)	<u>185名</u>	医師：41名 保健師：95名 管理栄養士：45名 看護師等：4名
第48回	平成30年2月18日(日)	大崎ブライトコアホール(東京)	<u>306名</u>	医師：109名 保健師：126名 管理栄養士：71名

【平成 29 年度 プログラムと担当講師】

『特定健診・特定保健指導第 3 期の改訂ポイントと保健指導のあり方』

『実践したくなる！身体活動・運動の指導ポイント』

『専門家でなくてもできるお酒の減らし方』

『禁煙成功率を高める禁煙支援のポイント』

『一歩先行く睡眠指導』

『事例検討』（演習テーマ：困難事例の検討）

（事例提供）

- ・ワーク 1 対象者の病態把握／生活習慣の課題について
- ・ワーク 2 対象者への支援方法について
（事例における食生活指導／運動指導のポイント講義）
（事例における専門家からのポイント講義）

（その他の事業）

VIII. 他団体等への紹介や指定等

1. 健保連等への人間ドック実施施設指定

平成 30 年 3 月末現在の指定施設は、一日ドックのみ 132 施設、二日ドックのみ 7 施設、一日ドック・二日ドック両方 343 施設である。

なお、旧制度の二日ドック指定施設は、現制度（機能評価認定）に移行するまでの暫定措置として、実査（実態調査）の受審を条件に平成 29 年度から平成 31 年度までは一日ドック・二日ドック両方の指定とする。

2. 特定健康診査・特定保健指導実施施設を保険者へ紹介(集合契約 A)

平成 30 年 3 月末現在の集合契約委託参加施設は 1,639 施設である。またこの集合契約を利用する保険者団体は健康保険組合連合会、全国健康保険協会、共済組合連盟、地方公務員共済組合協議会、日本私立学校振興・共済事業団等 13 団体となっている。

3. 第 3 期特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けての説明会の開催

日 時：平成 29 年 7 月 13 日（木） 13：00～17：10

会 場：東京ビッグサイト 国際会議場

参加人数：861 名

内訳：医師 19 名・保健師 246 名・管理栄養士 111 名・看護師 59 名・事務職 328 名・その他 98 名

【プログラム】

- ・平成 30 年度からの特定健診・特定保健指導の円滑な実施に向けての改訂ポイント
- ・第 3 期の特定保健指導で健診施設に対して期待すること
- ・第 3 期に向けての健診における準備ポイント
- ・特定健診・特定保健指導健診データ取扱い及び費用の請求等に関するシステム変更
- ・平成 30 年度からの集合契約 A について

決算報告

平成30年3月31日現在

貸借対照表

平成30年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	217,175,163	200,922,235	16,252,928
未収金	0	1,147,135	△ 1,147,135
前払金	8,735,547	3,724,747	5,010,800
立替金	0	214,136	△ 214,136
流動資産合計	225,910,710	206,008,253	19,902,457
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
建物	1,129,121	1,302,330	△ 173,209
什器備品	1,103,498	1,599,994	△ 496,496
ソフトウェア	195,120	360,240	△ 165,120
その他固定資産合計	2,427,739	3,262,564	△ 834,825
固定資産合計	2,427,739	3,262,564	△ 834,825
資産合計	228,338,449	209,270,817	19,067,632
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	3,514,135	0	3,514,135
未払消費税等	2,238,500	2,034,900	203,600
前受金	11,160,000	10,710,000	450,000
預り金	973,895	976,726	△ 2,831
仮受金	30,000	10,000	20,000
流動負債合計	17,916,530	13,731,626	4,184,904
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	17,916,530	13,731,626	4,184,904
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金	71,084,813	71,084,813	0
(うち特定資産への充当額)			
2. 指定正味財産			
受取寄付金			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	139,337,106	124,454,378	14,882,728
一般正味財産合計	139,337,106	124,454,378	14,882,728
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	210,421,919	195,539,191	14,882,728
負債及び正味財産合計	228,338,449	209,270,817	19,067,632

貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	4,984,025	1,571,617	210,619,521	0	217,175,163
前払金	3,680,784	20,536	5,034,227	0	8,735,547
流動資産合計	8,664,809	1,592,153	215,653,748	0	225,910,710
2. 固定資産					
(1) その他固定資産					
建物	987,981	70,570	70,570	0	1,129,121
什器備品	0	0	1,103,498	0	1,103,498
ソフトウェア	195,120	0	0	0	195,120
長期預け金	0	0	35,612,977	△ 35,612,977	0
その他固定資産合計	1,183,101	70,570	36,787,045	△ 35,612,977	2,427,739
固定資産合計	1,183,101	70,570	36,787,045	△ 35,612,977	2,427,739
資産合計	9,847,910	1,662,723	252,440,793	△ 35,612,977	228,338,449
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	3,422,734	10,381	81,020	0	3,514,135
未払消費税等	2,010,551	227,949	0	0	2,238,500
前受金	11,160,000	0	0	0	11,160,000
預り金	821,190	70,044	82,661	0	973,895
仮受金	0	0	30,000	0	30,000
流動負債合計	17,414,475	308,374	193,681	0	17,916,530
2. 固定負債					
長期預り金	35,542,407	70,570	0	△ 35,612,977	0
固定負債合計	35,542,407	70,570	0	△ 35,612,977	0
負債合計	52,956,882	378,944	193,681	△ 35,612,977	17,916,530
III 正味財産の部					
1. 基金					
基金 (うち特定資産への充当額)	35,542,406	0	35,542,407	0	71,084,813
2. 指定正味財産					
受取寄付金	0	0	0	0	0
指定正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	0	0	0	0	0
3. 一般正味財産					
(1) 代替基金	0	0	0	0	0
(2) その他の一般正味財産	△ 78,651,378	1,283,779	216,704,705	0	139,337,106
一般正味財産合計 (うち特定資産への充当額)	△ 78,651,378	1,283,779	216,704,705	0	139,337,106
正味財産合計	△ 43,108,972	1,283,779	252,247,112	0	210,421,919
負債及び正味財産合計	9,847,910	1,662,723	252,440,793	△ 35,612,977	228,338,449

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	108,425,000	107,204,000	1,221,000
正会員受取会費	57,395,000	57,224,000	171,000
施設会員受取会費	50,130,000	49,110,000	1,020,000
賛助会員受取会費	900,000	870,000	30,000
事業収益	198,573,568	193,930,520	4,643,048
学術大会参加収益	54,765,000	43,966,000	10,799,000
学術大会展示出店料収益	21,734,568	18,977,520	2,757,048
学術大会共催セミナー収益	12,204,000	11,084,000	1,120,000
認定医・専門医研修会事業収益	25,110,000	21,815,000	3,295,000
専門医試験・認定事業収益	2,734,000	11,464,000	△ 8,730,000
認定医認定・更新事業収益	6,520,000	9,270,000	△ 2,750,000
情報管理指導士研修認定事業収益	30,046,000	30,377,000	△ 331,000
機能評価審査・認定事業収益	25,300,000	25,650,000	△ 350,000
指定事業収益	19,230,000	20,140,000	△ 910,000
雑誌販売事業収益	930,000	1,187,000	△ 257,000
受取寄付金	4,855,000	7,826,000	△ 2,971,000
受取寄付金	4,855,000	7,826,000	△ 2,971,000
雑収益	13,027,895	10,898,061	2,129,834
受取利息	2,335	15,850	△ 13,515
広告掲載料収益	4,559,080	5,266,800	△ 707,720
雑収益	8,466,480	5,615,411	2,851,069
経常収益計	324,881,463	319,858,581	5,022,882
(2) 経常費用			
事業費	285,458,057	273,570,040	11,888,017
給料手当	47,744,050	46,307,299	1,436,751
法定福利費	7,228,318	6,606,163	622,155
退職給付費用	1,977,630	1,853,220	124,410
旅費交通費	18,677,880	22,443,580	△ 3,765,700
通信運搬費	10,808,283	10,897,982	△ 89,699
減価償却費	328,706	353,800	△ 25,094
消耗品費	3,289,475	3,733,435	△ 443,960
印刷製本費	36,402,693	42,732,708	△ 6,330,015
光熱水料費	584,923	532,667	52,256
賃借料	50,569,572	44,472,447	6,097,125
会議費	5,261,835	8,229,642	△ 2,967,807
諸謝金	12,653,039	12,022,612	630,427
租税公課	4,330,950	4,183,000	147,950
委託費	84,228,877	68,781,484	15,447,393
雑費	1,371,826	420,001	951,825
管理費	24,540,678	27,669,634	△ 3,128,956
給料手当	3,612,558	3,582,119	30,439
法定福利費	548,616	523,524	25,092
退職給付費用	158,400	154,800	3,600
福利厚生費	684,360	668,700	15,660
旅費交通費	6,433,004	7,914,553	△ 1,481,549
通信運搬費	2,175,724	2,248,046	△ 72,322
減価償却費	743,535	343,055	400,480
消耗品費	842,966	2,589,323	△ 1,746,357
印刷製本費	1,490,420	1,891,166	△ 400,746
光熱水料費	34,407	31,333	3,074
賃借料	939,454	1,060,286	△ 120,832
会議費	1,295,183	1,949,955	△ 654,772
保険料	488,737	581,715	△ 92,978
諸謝金	375,000	175,000	200,000
租税公課	70,800	73,290	△ 2,490
委託費	3,782,153	3,447,174	334,979
交際費	230,895	150,392	80,503
雑費	634,466	285,203	349,263
経常費用計	309,998,735	301,239,674	8,759,061
当期経常増減額	14,882,728	18,618,907	△ 3,736,179
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	219,558	△ 219,558
固定資産除売却損	0	219,558	△ 219,558
当期経常外増減額	0	△ 219,558	219,558
当期一般正味財産増減額	14,882,728	18,399,349	△ 3,516,621
一般正味財産期首残高	124,454,378	106,055,029	18,399,349
一般正味財産期末残高	139,337,106	124,454,378	14,882,728
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	71,084,813	71,084,813	0
基金期末残高	71,084,813	71,084,813	0
IV 正味財産期末残高	210,421,919	195,539,191	14,882,728

正味財産増減計算書内訳表

自平成29年4月1日
至平成30年3月31日

公益社団法人 日本人間ドック学会

(単位:円)

I. 一般正味財産増減の部	科目	公益目的事業会計							収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合計	
		①学術大会・国際学会	②学会誌	③技能検定・資格認定(認定医・専門医・機能評価)	④資格付与(情報管理・食生活改善指導士研修会)	⑤統計調査	共通	小計	①指定	共通	小計				
【1. 經常増減の部】															
(1) 經常収益															
1. 受取会費	1101 正会員受取会費	0	0	0	0	0	28,697,500	28,697,500	0	0	0	28,697,500	0	0	57,395,000
	1102 施設会員受取会費	0	0	0	0	0	25,065,000	25,065,000	0	0	0	25,065,000	0	0	50,130,000
	1103 賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	450,000	450,000	0	0	0	450,000	0	0	900,000
2. 事業収益	1201 学術大会参加収益	54,765,000	0	0	0	0	0	54,765,000	0	0	0	54,765,000	0	0	54,765,000
	1202 学術大会展示出店料収益	21,734,568	0	0	0	0	0	21,734,568	0	0	0	21,734,568	0	0	21,734,568
	1203 学術大会共催セミナー収益	12,204,000	0	0	0	0	0	12,204,000	0	0	0	12,204,000	0	0	12,204,000
	1204 認定医・専門医研修会事業収益	0	0	25,110,000	0	0	0	25,110,000	0	0	0	25,110,000	0	0	25,110,000
	1205 専門医試験・認定事業収益	0	0	2,734,000	0	0	0	2,734,000	0	0	0	2,734,000	0	0	2,734,000
	1206 認定医認定・更新事業収益	0	0	6,520,000	0	0	0	6,520,000	0	0	0	6,520,000	0	0	6,520,000
	1207 情報管理指導士研修認定事業収益	0	0	0	30,046,000	0	0	30,046,000	0	0	0	30,046,000	0	0	30,046,000
	1208 食生活改善指導士研修認定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	1209 機能評価審査・認定事業収益	0	0	25,300,000	0	0	0	25,300,000	0	0	0	25,300,000	0	0	25,300,000
	1210 指定事業収益	0	0	0	0	0	0	0	19,230,000	0	19,230,000	0	0	19,230,000	
	1211 雑誌販売事業収益	700,000	36,000	194,000	0	0	0	930,000	0	0	0	930,000	0	0	930,000
	1212 国際人間ドック会議会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3. 受取補助金等	1301 助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
4. 受取寄付金	1401 受取寄付金	4,855,000	0	0	0	0	0	4,855,000	0	0	0	4,855,000	0	0	4,855,000
	1402 受取寄付金振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5. 雑収益	1501 受取利息	232	0	0	0	0	0	232	0	0	0	232	0	0	232
	1502 広告掲載料収益	3,835,080	724,000	0	0	0	0	4,559,080	0	0	0	4,559,080	0	0	4,559,080
	1503 雑収益	161,000	173,600	1,300,000	4,185,000	0	0	5,819,600	2,280,000	0	2,280,000	366,820	0	8,466,480	
【經常収益計】		98,254,880	933,660	61,158,000	34,231,000	0	54,212,500	248,790,040	21,510,000	0	21,510,000	54,581,423	0	324,881,463	
(2) 經常費用															
1. 事業費	2101 給料手当	3,706,762	1,797,136	28,484,320	10,030,784	1,909,626	0	45,928,628	1,815,422	0	1,815,422	0	0	47,744,050	
	2102 法定福利費	563,529	275,075	4,324,178	1,503,541	288,453	0	6,964,776	273,542	0	273,542	0	0	7,238,318	
	2103 退職給付費用	136,800	72,000	1,185,630	432,000	64,800	0	1,891,230	86,400	0	86,400	0	0	1,977,630	
	2104 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2105 旅費交通費	1,858,322	974,840	12,241,163	2,197,045	1,370,510	36,000	18,677,880	0	0	0	0	0	18,677,880	
	2106 通信運搬費	1,302,876	5,801,431	1,095,589	1,990,325	529,085	8,553	10,727,859	80,424	0	80,424	0	0	10,808,283	
	2107 減価償却費	9,623	3,849	177,837	125,850	5,773	0	322,932	5,774	0	5,774	0	0	328,706	
	2108 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2109 消耗品費	3,082,320	166,000	25,755	0	15,400	0	3,289,475	0	0	0	0	0	3,289,475	
	2110 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2111 印刷製本費	6,385,061	15,490,445	7,370,967	6,023,484	946,451	0	36,216,408	186,285	0	186,285	0	0	36,402,693	
	2112 光熱水料費	34,407	13,763	357,835	137,629	20,645	0	564,279	20,644	0	20,644	0	0	584,923	
	2113 賃借料	33,608,745	164,290	7,549,973	8,657,576	273,434	69,120	50,323,138	246,434	0	246,434	0	0	50,569,572	
	2114 会議費	4,683,142	35,960	384,220	59,591	60,150	32,400	5,255,463	6,372	0	6,372	0	0	5,261,835	
	2115 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2116 雑損金	2,784,251	0	6,708,788	3,160,000	0	0	12,653,039	0	0	0	0	0	12,653,039	
	2117 租税公課	1,915,584	19,138	1,253,634	701,676	0	0	3,890,032	440,918	0	440,918	0	0	4,330,950	
	2118 委託費	44,325,566	14,683,238	4,433,401	8,954,869	11,478,111	353,692	84,228,877	0	0	0	0	0	84,228,877	
	2119 支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2120 雑費	923,214	270,196	146,988	16,956	2,916	1,188	1,361,458	10,368	0	10,368	0	0	1,371,826	
2. 管理費	2201 給料手当	0	0	0	0	0	0	0	3,612,558	0	3,612,558	0	0	3,612,558	
	2202 法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	548,616	0	548,616	0	0	548,616	
	2203 退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	158,400	0	158,400	0	0	158,400	
	2204 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	684,360	0	684,360	0	0	684,360	
	2205 旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	6,433,004	0	6,433,004	0	0	6,433,004	
	2206 通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	2,175,724	0	2,175,724	0	0	2,175,724	
	2207 減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	743,535	0	743,535	0	0	743,535	
	2208 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2209 消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	842,966	0	842,966	0	0	842,966	
	2210 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2211 印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	1,490,420	0	1,490,420	0	0	1,490,420	
	2212 光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	34,407	0	34,407	0	0	34,407	
	2213 賃借料	0	0	0	0	0	0	0	939,454	0	939,454	0	0	939,454	
	2214 会議費	0	0	0	0	0	0	0	1,295,183	0	1,295,183	0	0	1,295,183	
	2215 保険料	0	0	0	0	0	0	0	488,737	0	488,737	0	0	488,737	
	2216 雑損金	0	0	0	0	0	0	0	375,000	0	375,000	0	0	375,000	
	2217 租税公課	0	0	0	0	0	0	0	70,800	0	70,800	0	0	70,800	
	2218 委託費	0	0	0	0	0	0	0	3,782,153	0	3,782,153	0	0	3,782,153	
	2219 交際費	0	0	0	0	0	0	0	230,895	0	230,895	0	0	230,895	
	2220 雑費	0	0	0	0	0	0	0	634,466	0	634,466	0	0	634,466	
【經常費用計】		105,320,202	39,767,361	75,740,278	43,991,326	16,965,354	500,953	282,285,474	3,172,583	0	3,172,583	24,540,678	0	309,998,735	
■評価損益等調整前当期經常増減額		△ 7,065,322	△ 38,833,701	△ 14,582,278	△ 9,760,326	△ 16,965,354	53,711,547	△ 33,495,434	18,337,417	0	18,337,417	30,040,745	0	14,882,728	
	2810 基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2820 特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2830 投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【評価損益等計】		△ 7,065,322	△ 38,833,701	△ 14,582,278	△ 9,760,326	△ 16,965,354	53,711,547	△ 33,495,434	18,337,417	0	18,337,417	30,040,745	0	14,882,728	
【当期經常増減額】		△ 7,065,322	△ 38,833,701	△ 14,582,278	△ 9,760,326	△ 16,965,354	53,711,547	△ 33,495,434	18,337,417	0	18,337,417	30,040,745	0	14,882,728	
【2. 經常外増減の部】															
(1) 經常外収益															
※固定資産売却益	1910 資産売却益・資産受贈益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【經常外収益計】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 經常外費用															
※固定資産売却損	2910 資産売却損・資産減損損失等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【經常外費用計】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
【当期經常外増減額】		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
■地価計振替額		1990	0	0	0	0	18,337,417	18,337,417	△ 18,337,417	0	△ 18,337,417	0	0	0	
【当期一般正味財産増減額】		△ 7,065,322	△ 38,833,701	△ 14,582,278	△ 9,760,326	△ 16,965,354	72,048,964	△ 15,158,017	0	0	0	30,040,745	0	14,882,728	
【一般正味財産期首残高】		△ 59,172,119	△ 302,258,342	△ 57,529,056	△ 67,066,178	△ 118,340,392	540,872,726	△ 63,493,361	1,283,779	0					

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

1) 適用している会計基準

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物附属設備 定率法

什器備品 定率法

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

建物附属設備 15年

什器備品 4年～5年

② 無形固定資産

ソフトウェア 定額法

3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込経理を採用している。

2 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,560,235	1,431,114	1,129,121
什器備品	3,668,123	2,564,625	1,103,498
合計	6,228,358	3,995,739	2,232,619

3 退職給付関係

1) 採用している退職給付制度の概要

独立行政法人勤労者退職金共済機構の退職金共済制度に加入し、原則として同機構からの支給額をもって退職金とする。

2) 退職給付債務及びその内訳

(単位：円)

退職給付債務	0
退職給付引当金	0

3) 退職給付費用に関する事項

(単位：円)

勤務費用	2,136,030
退職給付費用	2,136,030

財 産 目 録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	振替貯金 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局(9口座) 普通預金 ： 三井住友銀行麹町支店(3口座) 定期預金 ： 三井住友銀行麹町支店 ： ゆうちょ銀行一番町郵便局	支払資金として使用 支払資金として使用	79,281,015 97,839,491 30,054,657 10,000,000
前払金	翌年度事務所賃料 翌年度研修会等会場費 翌年度学術大会前払額		616,086 3,119,461 5,000,000
流動資産合計			225,910,710
(固定資産) その他固定資産			
建物	事務所賃貸造作	事務局及び会議室 公益目的事業に87.5%、収益事業等に 6.25%、法人管理に6.25%使用	1,129,121
什器備品	パーソナルコンピューター コピー機	会員管理・事業管理用 会員管理・事業管理用	953,290 150,208
ソフトウェア	公益目的事業管理ソフト	会員管理・事業管理用 (公益目的保有財産)	195,120
固定資産合計			2,427,739
資産合計			228,338,449
(流動負債)			
未払金	経費未払額		3,514,135
未払消費税等	確定申告納付消費税等未払額		2,238,500
前受金	次年度事業前受金		11,160,000
預り金	一般社団法人日本病院会 源泉所得税、住民税 社会保険料	指定料	40,000 254,830 679,065
仮受金	部会費二重払い		30,000
流動負債合計			17,916,530
(固定負債)			
固定負債合計			0
負債合計			17,916,530
正味財産			210,421,919

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

該当なし

2. 引当金の明細

該当なし